

Beyond 2025

関西電力グループが創る
未来の「あたりまえ」

未来社会をデザインするアイデアや技術が集う、
EXPO 2025 大阪・関西万博
関西電力グループが創る未来の「あたりまえ」、
その実現に迫る取り組みをご紹介します

関西電力グループが関わるプロジェクト一覧

関西電力グループが「大阪・関西万博」で関わる7つのプロジェクトを紹介します。エネルギー技術にまつわるプロジェクトや展示を通じて、未来の「あたりまえ」をぜひ体感してください。



01

空飛ぶクルマの離着陸場・充電インフラ

万博において空飛ぶクルマのポート運営に協賛するオリックス株式会社と連携し、電力インフラ整備・運営を担うことに加えて、株式会社 SkyDrive と共同開発中の充電設備を提供します。空飛ぶクルマは、電動で垂直離着陸する航空機の総称で、都市部の渋滞解消、離島や山間部の移動、災害時の救急搬送等での活躍が期待されます。

©SkyDrive

02

来場者移動EVバス

大阪・関西万博の会場内でEVバス100台以上の運行管理と充電の最適化に貢献します。運行管理システムとエネルギーマネジメントシステムを活用し、EVバスの自動かつ効率的な運行を目指します。走行中給電システムでEVバスの稼働率向上、自動運転レベル4を想定した無人バス運行を実現し、未来のモビリティを体感できます。

画像制作：関西電力・Osaka Metro

会場内EVバス停

1970年に開催された大阪万博で原子力の電気を供給した関西電力が、2025年の大阪・関西万博では水素発電を含むゼロカーボンの電力供給を目指します。また、未来社会をイメージした3カ所のEVバス停を建築し、映像機器等の演出を通じて、幅広い世代の方に未来のエネルギーに関する情報を発信します。

03



水素燃料電池船

岩谷産業株式会社の水素燃料電池船開発 (NEDO ※ 助成事業) に参画し、エネルギーマネジメントシステム構築と船舶用充電設備の導入を担います。福井県おおい町で原子力の電気から水素を製造し、燃料として、一部供給することも計画しています。CO2排出ゼロで騒音や振動も少ない快適な乗り心地を実現し、環境に優しい旅客運航に貢献します。

※国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

04



提供：岩谷産業株式会社

05

水素発電実証

水素発電の社会実装に資する運用技術の確立を目指すため、姫路第二発電所に設置されているガスタービン発電設備を活用し、大阪・関西万博期間中に水素発電実証を行います。経済産業省およびNEDOが進めるグリーンイノベーション基金の支援を受け実施しています。

06

スマートポール

関西電力送配電は、未来の都市パビリオンにて、AIカメラや太陽光、巻付サイネージを備えたスマートポールの「実証」と自身のアバターによる「AR体験」を予定しています。

07



電力館
可能性のタマゴたち

7つのプロジェクトの詳細はこちら →

Beyond2025 関西電力



URL: <https://www.kepco.co.jp/corporate/expo2025/index.html>

